

生ごみ堆肥の作り方

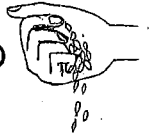
さあ、今日から始めましょう！

1

ビニール袋の中に、生ごみ300gとひとにぎり(約20g)の米ぬかボカシを入れて、シャッフルしてください。

専用容器に生ごみを平らに入れ、再度米ぬかボカシを生ごみの表面が薄く隠れるほどふりかけると、上手に生ごみ堆肥ができます。

生ごみを入れるたびに、蓋をしっかりと閉めてください。(虫の侵入を防ぐため)

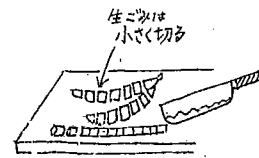


ポイント ①

生ごみは小さく切ってください。

固い物、鶏の骨や貝も細かくしたらOK!

魚のはらわたや骨も入れて大丈夫ですよ!必ず水を切ってくださいね。



ポイント ②

ビニール袋の中でよく混ぜて、生ごみの表面に米ぬかボカシを万遍なくからませてください。そして容器の中に入れます。これをやらないと腐敗の原因になりますよ!



2

生ごみを専用容器に入れていくうちに、水分が出てきます。その水分は容器の下に溜まります。溜まったら、そのつどコックから抜いてください。



ポイント ①

容器内に水分を溜まったままにしておくと悪臭や虫がわいたり、腐敗の原因になります。



ポイント ②

水分(液肥)は排水口などに流すと、ぬめりと臭いが取れます。また水で薄めて(50~100倍)、花や野菜にかけられます。



コックに水(液肥)が溜まります。

3

専用容器に八分目くらいになったら、しっかり蓋をして約1週間(冬場は2週間)おいて、よく熟成させる。その後、プランターなどに入れましょう。

生ごみ堆肥で

野菜と花づくりにチャレンジ！！

生ごみをプランターに使用する場合

- ① 市販用野菜作り用土（10kg）1袋に対して約3割の生ごみを混ぜ、よくかき混ぜます。畑の土を使用されても大丈夫です。
- ② プランターにかき混ぜた生ごみ土を8割入れます。
- ③ 草やワラをかぶせたり、また通気の良い波板などをのせて1～2週間待ちます。
- ④ プランターを雨が振り込まない所に置きます。
- ⑤ 途中2～3回全体的に混ぜます。

生ごみを畑に使用する場合

- ① 1m四方に10kgの割合で生ごみを混ぜ、全体に土と生ごみを良く混ぜ合わせます。
※混ぜ合わせたものは、20cm位の深さに埋めます。深く埋めると、生ごみが腐敗しやすくなり、後で野菜に病害虫が付きやすくなります。
- ② 広めの波板やブルーシート、草、ワラなどで土を覆います。（水分安定や犬猫予防の為）
- ③ 冬場は寒すぎると発酵が遅くなるので、日光が通るように半透明の波板やビニールシートなどで覆ってください。
- ④ 投入して約2週間後、土が臭わなければ植えつけ可能です。

生ごみを作物の成長途中に使用する場合

- ① 野菜のうね間にスジ状に穴を掘ります。
- ② 穴に生ごみを均一に投入します。
- ③ 生ごみの上に薄く土をかぶせます。

お問い合わせ先

NPO法人 循環型環境・農業の会

TEL 0952-47-5074

FAX 0952-47-4913

携帯 090-9563-9543